

海の今と課題

長野県上田染谷丘高校1年6組 篠原 叶

この課題に関わるSDGsの番号



テーマ設定の理由

・テレビやニュースを見て、海に捨てられたプラスチックのゴミの影響で海が汚染されたり、魚がゴミを飲み込んで死んでしまうなどの悲しい事が起きているのを知り、海には今どれだけゴミがあるのか、またそのゴミが海にどのような影響を及ぼしているのか気になったから。

海の現状

・海洋ごみの半分以上を占めるプラスチックごみは、性質上滞留期間が長く、中には400年以上海の中を漂うものもあります。プラスチックごみだけをとっても、世界に合計1億5,000万トン以上の量が存在しているといわれ、毎年約800万トン(ジャンボジェット機にして5万機相当)が新たに流れ出ていると推定されています。 引用:SDGs目標14「海の豊さを守ろう」とは？現状や日本と世界の ...

海洋汚染はかなり深刻な状況となっています。原因は様々ですが8割は陸地からの影響であると言われ、二酸化炭素や工業排水、未処理の下水や油、海洋ごみなどが陸地から海に流れ込み、悪影響を与えています。他にも漁業や沿岸の観光業、港湾開発など多種多様な活動が海洋汚染に影響しているのです。海洋汚染は、「海洋温暖化」「海洋の酸素欠乏」「海洋の酸性化」といった状態が見られます。 引用:[SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」で解決すべき問題と ...](#)

課題

- ・海に捨てられた多数のプラスチックごみが、分解されきれずにマイクロプラスチックとなり、海洋生物の体内に取り込まれ、それが体内で消化されずに内部を傷つけていき、最終的に死へと追いやってしまっていること
- ・生活排水や工業排水が河川に流れ込み、海へ流れ着いてしまい、海の汚染や赤潮などの原因となってしまうこと

解決策

- ・陸地や海洋に捨ててあるプラスチックごみの回収とポイ捨てへの注意喚起
- ・海洋に流れ出てしまったとしても海に分解される素材と、その素材を使用した製品の開発
- ・水の汚染の元となる調理くず、油、食器についた汚れなどを流してしまわないように家庭で配慮する

10代からの提言

- ・一人ひとりが積極的に解決に向けて行動していかないといけない問題だから、小さなことでもいいから行動していく。
- ・今の海が抱えている問題への理解を深める。

感想

- ・このスライド作成を通して、テレビで見たりしているだけだった海の問題について詳しく知ることができ、とても貴重な経験になった。
- ・海に流れているプラスチックごみの量が自分の想像していた量を遥かに上回っていると知りとても驚いた。